

伊豆東部火山群の火山活動解説資料(平成21年8月)

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成19年12月1日に噴火予報(平常)を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

活動概況

・噴煙など表面現象の状況

伊東市に設置してある遠望カメラでは、噴煙などの表面現象は認められませんでした。

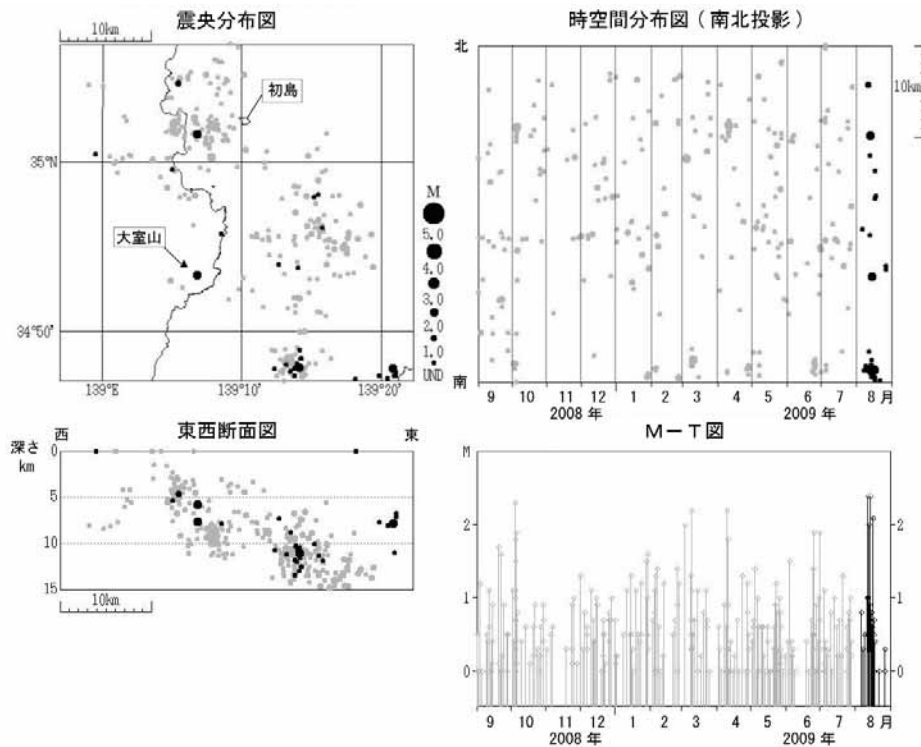
・地震や微動の発生状況(図1、図2 -)

12日から16日にかけて、東伊豆町の東側約15km付近を震源とする地震がややまとまって発生しました。最大の地震は12日02時50分に発生したマグニチュード¹⁾2.4(暫定値)の地震で、東伊豆町奈良本で震度1を観測しました。

火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況(図2 -)

GPS連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。



: 2008年9月1日~2009年7月31日 : 2009年8月1日~8月31日

図1 伊豆東部火山群 震源分布図(2008年9月1日~2009年8月31日)

M(マグニチュード)は地震の規模を表します。図中の震源要素は一部暫定値で、後日変更することがあります。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料(平成21年9月分)は平成21年10月7日に発表する予定です。

この記号の資料は気象庁のほか、東京大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000(行政界・海岸線)』『数値地図50mメッシュ(標高)』を使用しています(承認番号:平20業使、第385号)。

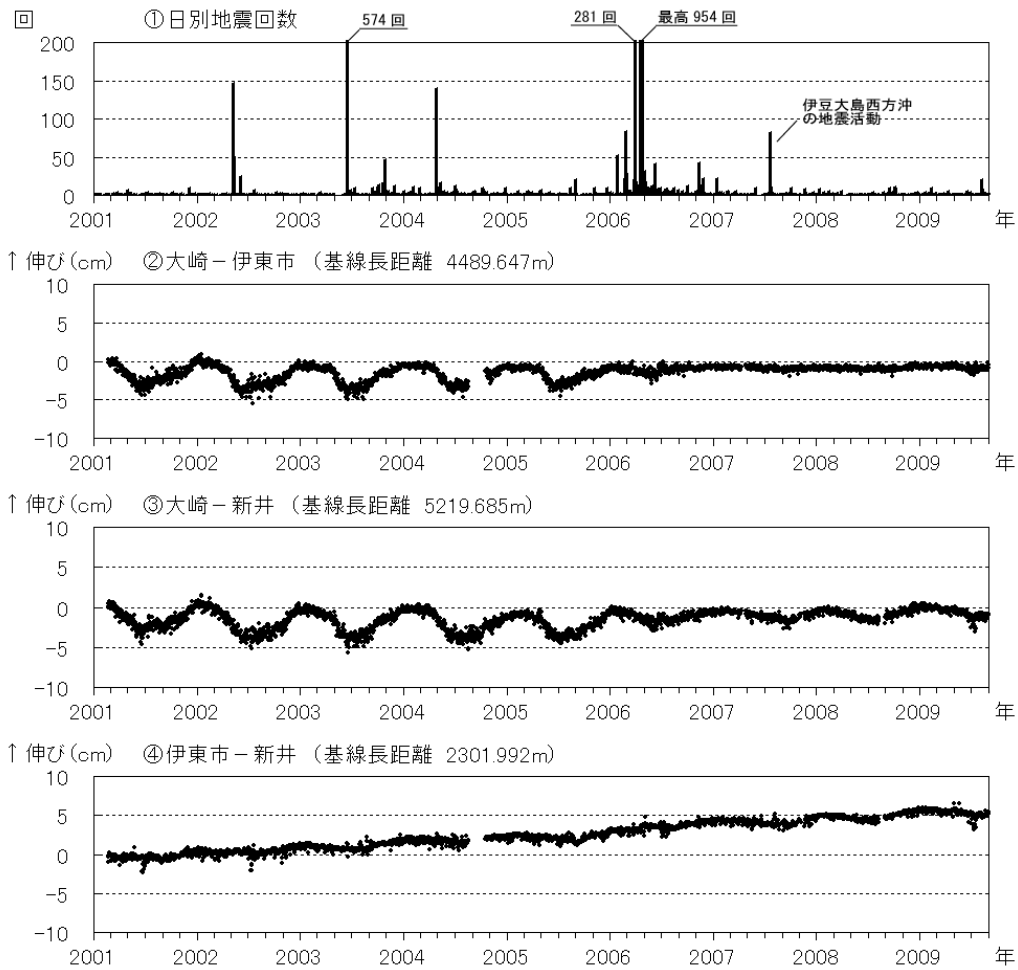


図2 伊豆東部火山群 最近の火山活動の推移（2001年1月～2009年8月）

鎌田地震観測点による日別地震回数
 ~ GPS連続観測による基線長変化（観測開始は2001年3月）
 基線長変化に見られる冬季の伸びと夏季の縮みの傾向は季節変動による変化です。
 ~ は図3のGPS基線 ~ に対応しています。
 グラフの空白部分は欠測。

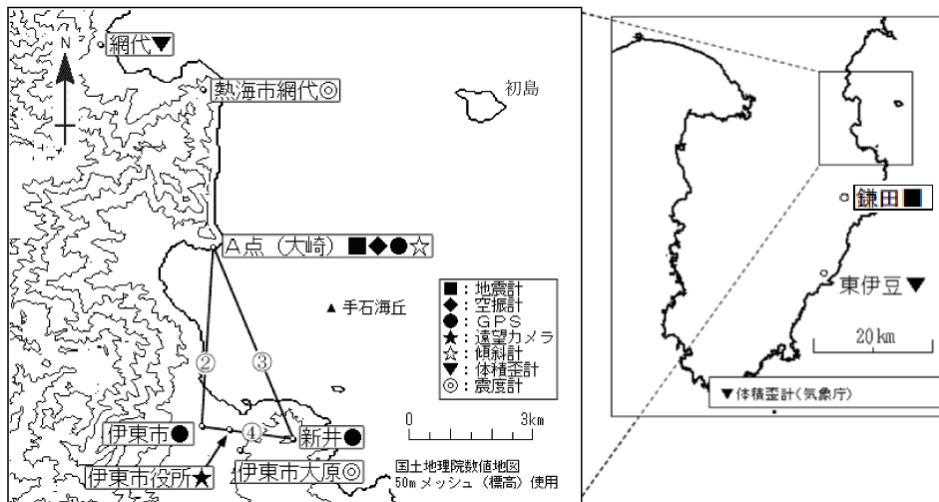


図3 伊豆東部火山群 気象庁の観測点配置図（小さな白丸は観測点位置を示しています）
 GPS基線 ~ は図2の ~ に対応しています。